

# 看護福祉学部福祉マネジメント学科 総合型選抜

総合型選抜 課題レポート

## 課題レポート問題

**問題** 次の文章を読み、あなたの考えを1200字以内で述べなさい。

高齢化が進む中、高齢者が入居できる施設は増えています。特別養護老人ホームや介護老人保健施設といった公的施設のほか、民間企業が運営する高齢者向け住宅などもあります。あなたはついのすみかとして利用したいですか。

「どちらかといえば利用したくない」が29%と最も多く、「利用したくない」の13%と合わせ、「利用したくない派」は42%だった。「どちらかといえば利用したい」の26%と、「利用したい」の14%を合わせた「利用派」は40%。「分からない」は18%だった。

「利用したくない派」の大半は、「住み慣れた家で自由に過ごしたい」（札幌市内の70歳女性）と考えている。胆振、日高管内の74歳男性は「自宅をついのすみかにするつもりで、計画的に改修をしている」という念の入れようだ。

施設での生活に対する消極的な意見も多い。札幌市内の57歳男性は「他人と暮らすことにストレスを感じる」、胆振、日高管内の52歳女性は「施設での虐待が多い」と不安を吐露した。

「利用派」では、「家族に迷惑をかけたくない」（札幌市内の20歳男性）という理由が圧倒的に多い。

札幌市内の63歳女性は、別居する86歳の母親の世話に追われているといい、「子供にこの思いをさせたくない」と切実だ。胆振・日高管内の54歳女性は「介護はプロに任せて、家族には笑顔でたくさん会いに来てもらうのが理想」とした。

「周りに面倒を見てくれる人がいない」（札幌市内の53歳女性）という独身、独居者からの声も多かった。後志、空知管内の69歳女性は「持ち家の除雪が大変」と北国特有の悩みを挙げた。

「分からない」と答えた札幌市内の45歳男性は「在宅で受けられるサービスが今後拡充されるなら自宅で生活したい」と今後の高齢者施策を注視している。

\*調査方法 北海道新聞 HotMedia が管理・運営する「Doshi ネット」を通じて2月8～12日、石狩、後志、空知、胆振、日高各管内の読者モニター547人に質問。446人（男性218人、女性228人）から回答を得た。回答率81.5%。

出典「2023/08/02（水）北海道新聞朝刊地方（札幌市内） 一部改変」  
「著作物利用許諾番号 28141」